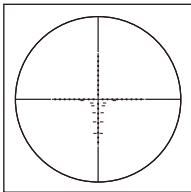


# SURE HIT 31042IR HIDE7 SSTP

## 取扱説明書

倍率 : 3~10倍  
レンズ径 : 42mm  
チューブ径 : 30mm  
レティクル : Mildot-SSTP  
M.O.A. : 1クリック/1/4M.O.A.  
アイリーフ : 3x=104mm/10x=99mm  
全長 : 350mm  
重量 : 650g  
作動角度 : UP・R/45M.O.A.  
アイリーフポイント : 1M.O.A.以内  
F.O.V. : 33x7.6m, 10x2.84m  
付属品 : フリップオーブンキャップ、サンシェード



## 銃にマウントする前に

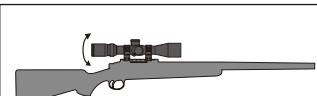
### ●焦点合わせ - ディオフター調整

視力は各個人で異なりますので、接眼部にある「ディオフター」を使って調整しておく必要があります。

まず、サイドフォーカスノブを無限遠(∞)に合わせます。そして壁や空などの形のない明るいところを見て下さい。その状態でレティクルがクリアでなければ、ディオフターを回して鮮明に見えるように調整してください。



遠くを見た状態でレティクルがクリア見えるように、ディオフターを回して調節します。



スコープは、レンズを覗いたときに空中にレティクルが投影されるようにできています。ディオフターは、その投影される距離を調節するためのものです。



### ●調節ノブのロックと解除方法

SURE HIT 31042IR のエレベーション / ウインデージ調節ノブは、回転しないようにロックする機能を持っています。



#### 注意

調節ノブを無理に回さないでください。ノブをいっぱいまで回した状態から、さらに無理に回すことは損傷の原因になります。



ロックされている状態……ノブを押し込むとロックされ、回転できなくなります。



ロックを解除した状態……ノブを引き出するとロックが解除され、回転することができます。

### ●レティクルをセンターに合わせる

SURE HIT 31042IR は、出荷時にレティクルがおおむね中心に来るよう調節してあります。一度別の銃で使用したことのある場合などは、マウント前に一度レティクルをセンターに戻しておくことをおすすめします。



1. エレベーション / ウインデージ調節ノブを、一度片方向(写真では時計回り)に、何回転させたか数を数えながら、動かなくなるまで回す。



2. 反対方向(写真では反時計回り)に、何回転させたか数を数えながら、動かなくなるまで回す。



3. 最初と同じ方向(写真では時計回り)に、「2」で調べた回転数の半分だけ回す。

## SURE HIT の取り付け

スコープが十分にその能力を発揮するためには、銃に正しくマウントされていることが非常に重要になります。適切な高さ・位置・向きに、十分に強固にマウントしてください。



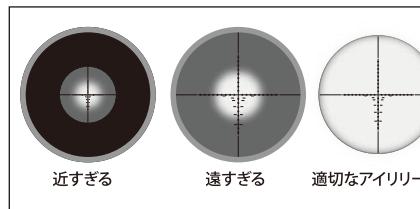
銃に取り付けられているマウントベースと、SURE HIT 31042IR に適した、十分に品質の高いマウントリングを使用してください。



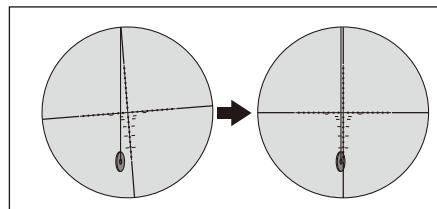
まず、マウントリングの下側のみを、銃のマウントベースに取り付けます。この段階では仮固定なので、マウントリングの固定スクリュウは軽く締めるだけOKです。



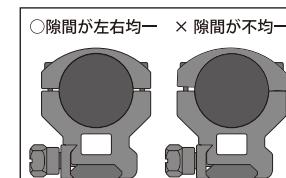
スコープをマウントリングに載せ、前後位置などが適切になっているかどうかを確認します。実際に銃を構えてみて、適切なアイリーフが取れるかどうかを確認します。



アイリーフとは…スコープは目と接眼レンズの間に、ある程度の距離を置いた状態で使用します。その距離をアイリーフと呼びます。近すぎても遠すぎても、正しい照準ができなくなります。構えた時に適切なアイリーフが取れるようにスコープを取り付けてください。



レティクルの水平・垂直を合わせます。銃を平らなどこに置いていた状態で垂直なもの(コインを吊り下げた糸など)をスコープで見て、糸とレティクルの縦の線が揃うようにするなどの方法があります。



マウントベースにマウントリングを固定しているスクリュウを十分に締めてから、マウントリングの上側を取り付け、各部のスクリュウを締め付けます。スクリュウは一箇所だけをいきなり全部締め付けるのではなく、全体が均等に締まっていくように注意してください。

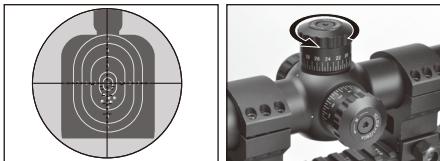
スコープを装着する前に、常にあなたのライフルに弾が入っていないこと、撃てる状態になっていないこと、安全装置がかかっていることを確認して下さい。これは装着の都度必ず実行して下さい。



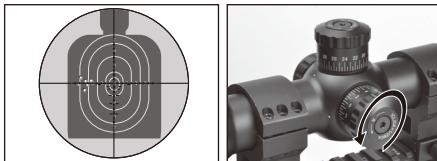
#### 厳重注意

## ゼロイン

ある特定の距離でターゲットの中心を狙って撃ったときに、中心に弾着が集まるように調節することをその距離におけるゼロインと呼びます。ゼロインをする時には、1発だけではなく同じ場所を狙って数発を撃って、そのまま見て調節することが重要です。

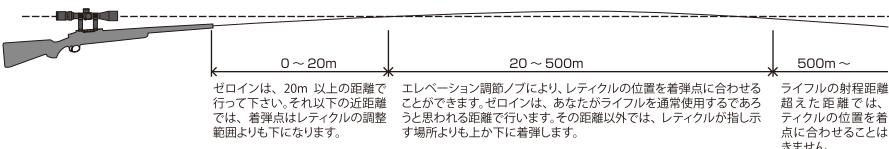


狙った場所より下に当たる場合…エレベーション調節ノブを「UP」の方に回します。上に当たる場合はその逆です。

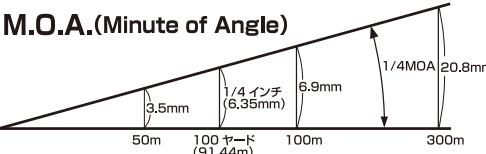


狙った場所より左に当たる場合…ウインデージ調節ノブを「R」の方向に回します。右に当たる場合はその逆です。

光は真っ直ぐ進みますが、発射した弾はおおむね放物線を描いて飛びます。レティクルの中心に弾が当たるのは最大で2つの距離だけで、それ以外の距離では弾はレティクルの中心より上か下に当たります。

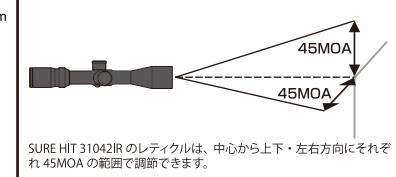


## M.O.A.(Minute of Angle)



本製品のレティクルは1クリックで1/4MOAの移動量になるように設計されています。MOA(Minute of Angle)とは100ヤードで1インチとなる角度の単位のことです。1/4MOAをメートルに直すと「91.4mmで6.9mm」の移動量ということになります。50mでは3.5mm、300mでは20.8mmとなります。

## レティクルの調整範囲

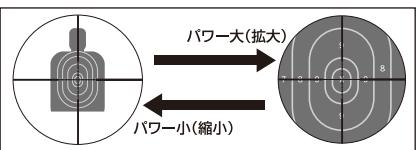


SURE HIT 31042IRのレティクルは、中心から上下・左右方向にそれぞれ45MOAの範囲で調節できます。

## パワーセレクター(ズーム)の使い方



パワーセレクターを回転させることで、ターゲットの拡大率を変更できます。



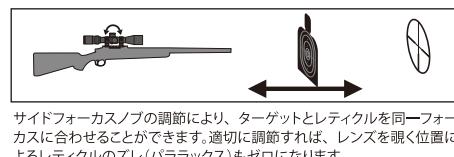
大きな数字ではターゲットは大きく、小さな数字では小さく見えます。どこにいるかわからないターゲットを探すときは小さな数字、より精密に狙いたいときは大きな数字に合わせるとよいでしょう。

## サイドフォーカスノブの使い方

ライフルスコープは、レンズを覗いた時にレティクルが遠方に投影されて見えるように設計されています。サイドフォーカスノブは、ターゲットまでの距離とレティクルが投影される距離を一致させるためのものです。



ターゲットまでの距離に合わせてスコープ左側面にあるサイドフォーカスノブを調節します。フォーカスを合わせることができる距離は最短で10mからになります。



サイドフォーカスノブの調節により、ターゲットとレティクルを同一フォーカスに合わせることができます。適切に調節すれば、レンズを覗く位置によるレティクルのズレ(パララックス)もゼロになります。

## イルミネーションレティクルの使い方

SUREHIT 31042IRには、レティクルが赤く発光する機能があります。明るさを8段階に調節できます。暗い場所で照準するときに使用します。



接眼レンズの右にあるスイッチがイルミネーションレティクルの点灯スイッチです。



スイッチを押すと、レティクルの中心部分が赤く発光します。明るさは8段階に調節できます。

スイッチの使用方法	
消灯	前回消灯したときと同じ明るさで点灯
点灯	1段階ずつ明るくなり、最も明るくなったところでもう1度押すと消灯 ※明るさは8段階調節 スイッチ長押しで消灯



電池はスイッチ前方にあるケースに入っています。CR2032リチウム電池を1個使用します。出荷時の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

## メンテナンス

ホコリや汚れはまずエアダスターやブロワーで吹き飛ばし、落ちない汚れは柔らかい布などで拭き取ってください。使用しない時は付属のレンズキャップを装着してください。

可動部分は恒久的な潤滑がなされていますので、油を差したりしないでください。

## トラブルシューティング

### ● 狙った場所に当たらない

調節ノブの範囲に収まらない…マウントベースがエアガンに対して真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。  
撃つたびに当たる場所がズレる…マウントベースとエアガンがしっかりと固定されているか確認してください。